

第1学年〇組 学級活動（1）学習指導案

中学校・特別活動

実施期間 令和〇年〇月～〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 題材の構想

「集団宿泊教室の成功に向けて今できることを考えよう」
(ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

子どもの姿	<p>・ 集団宿泊教室を通して自分たちの目指す学級とするために、学級の課題とその解決への手立てを考え、一人一人が学年・学級の形成者であるという自覚を持ち、自らの向上と集団の発展を目指している。</p> <p>・ 多様な意見を基に、多面的・多角的に考えることで合意形成を図る。また、協力・協働しよりよい集団を目指す活動を通して、学年や学級への所属感が高まり、自治的能力を高めている。</p>		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
題材の目標	<p>①よりよい集団の意義や他者と協力・協働することの大切さを理解し、合意形成の方法を身に付けることができる。</p>	<p>①学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、その解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができる。</p>	<p>①学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。</p>
目標に向かうための手立て	<p>○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>【めあて】 集団宿泊教室の意義や目的、学年テーマと関連付けさせて、集団宿泊教室を通して学級が成長するために、今何が必要かを考える学級会であることを明確にし、課題を他人事ではなく自分事として意識できるようにする。</p> <p>【振り返り】 これまでの話し合い活動や実践の過程を振り返り、集団宿泊教室を成功させるために、学級や自己の経験を活かせるようにする。</p> <p>【対話】 集団宿泊教室の成功の姿を全員で共有し、さらなる向上に向けた学級の課題を出し合い、課題解決のための行動目標を考える。話し合いの視点に沿って、個人・小集団・学級集団で意見を出し合い、他者の意見や考えを受け止めることで自分の考えを修正したり、課題解決に向けた方法に折り合いをつけたりして話し合い、合意形成を図ることができるようにする。</p>		
子どもの実態 30人	<p>①ほとんどの生徒がよりよい集団をつくることの意義や他者と協力・協働することの大切さを理解しているが、集団の形成者として、個でどのような行動をとればよいか迷う生徒が3割程いる。</p>	<p>①課題の解決に向け、自分の考えを出すことは多くの生徒ができるが、合意形成を図る際に、大多数の意見に流されてしまう生徒が2割程いる。</p>	<p>①話し合いで決まったことを他者と協働して取り組むことができる生徒が多い。一方で、何事にも無関心で人任せになってしまう生徒が2割程いる。</p>

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①よりよい集団の意義や他者と協力・協働することの大切さを理解し、合意形成の方法を身に付けている。</p>	<p>①自分たちの目指す学級とするために求められることを話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。</p>	<p>①集団宿泊教室当日までの過程の中で、話し合いで決まったことを他者と協働して取り組み、自らの向上と集団の発展を図ろうとしている。</p>

指導と評価の計画（3時間取り扱い ●本時2/3）

課題等	活動段階	期日・時間	主たる学習活動	評価する内容と方法等
私たちが目指す学級にするために、今できる取り組みを考えよう。	準備	○月○日 帰りの会	○集団宿泊教室の学年テーマ決めを行う。	【主】①観察
		○月○日 学級活動	○学級の目指す集団宿泊教室を考え、行動目標を立てる。	【知】①観察 【思】①「キャリア・パスポート」
	計画	○月○日 学級活動	●集団宿泊教室までの行動目標を決定する。	【知】①観察・ワークシート 【思】①発表・ワークシート
	実践	集団宿泊 当日まで	○決まったことを実践する。	【主】①観察
	振り返り	○月○日 学級活動	○振り返りを行う。	【思】①「キャリア・パスポート」 【主】①観察

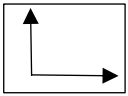
2 本時の授業計画

議題	提案理由
集団宿泊教室までの私たちの行動目標を決めよう	合唱コンクールの取組を通して、学級の成長点と課題点が見えてきました。11月に行われる集団宿泊教室では「社会性を身に付け、成長できる集団宿泊教室」が目標ですが、これは集団宿泊当日のみの取組では達成できないと思います。日常生活の中で取り組むことを決め、その取組の成果を集団宿泊教室の中で発揮できれば学級の成長につながると思い、この議題を提案します。

(1) 本時の目標

充実した集団宿泊教室にするために、学級の課題とその解決への手立てを考え、意見を共有する活動を通して合意形成を図り、集団宿泊教室までの学級の取組(行動目標)を決めることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等
導入	5	1 合唱コンクールの振り返りをし、集団宿泊教室の目的と学級テーマの確認をする。	○合唱コンクールを通して成長点と課題点は何だろう。 ○どのような集団宿泊教室にしたいですか。 ・みんなが楽しいと思える集団宿泊教室にしたい。	○合唱コンクールへ向けた取組を振り返り動機づけを図る。	・タブレット ・スクリーン ・ワークシート
	5	2 議題、提案理由の説明。 ・事前の授業を振り返る。 ・話合いの柱の確認。			
めあて：私たちが目指す集団宿泊教室にするために、どんなことができるか考えよう					
展開	5	3 行動目標に対する質疑応答。(柱1)	柱1で予想される質疑 ・時間的に、実現可能か。 ・学級の課題を踏まえて考えるべき、等。	○行動目標の内容を明確にする。	・タブレット ・ワークシート
	25	4 行動目標について話し合う。(柱2) (1) 個人で考える。 (2) 個人の考えを理由も添えて班で出し合う。 (3) 全体で意見を出し合い議論する。 (4) 合意形成シートをもとに再度考え、個人の考えを班で出し合い、班ごとに意見をまとめる。 (5) 全体で意見を出し合い、まとめ、学級の行動目標を決定する。	柱2で予想される発言 ・5分前行動を徹底したほうがいい。 ・困っている人にもっと声をかけるようにしたい。 ・2つの視点(合意形成シート)をもとに考えたい。 ・優先する軸を決める。 ・みんなで実行できるものがない。 ・意見を組み合わせるとみんなが納得できるのではないかな。	○話し合いの視点を提示する。 合意形成シート 柱1、柱2を通して ◎【知】①合意形成に向かうための話し合いの目的を理解している。 ◎【思】①自分の意見に固執せず、多様な意見を大切にして考えを変えるなどして折り合いをつけている。	 ・合意形成シート 2つの視点を縦軸(自分たちが目指すものに近づくか)と横軸(みんなで実行できるか)で示したシート。右上に向かうほど重要度が高い。 ・ワークシート
終末	10	5 決まったことの確認。 6 振り返りを行う。 (1) 先生の話 (2) 振り返りシートの記入	○振り返りを生かしながら自分たちの行動をもっと高めていきましょう。	○集団で取り組む意義や大切さ、集団の形成者としての自覚や責任感を価値づける。	

特別活動

第4学年〇組 学級活動(1) 学習指導案

実施期間 令和〇年〇月～〇月
指導者 〇〇〇〇

1 題材の構想

「4年〇組かるた大会をしよう」 (ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

子どもの姿
・自分たちだけのかるたを作ることを通して、自分や友達のことを深く知るとともに、学級への所属感が高まっている。
・かるた大会を計画し実践することを通して、協力することの大切さを味わうとともに、自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていかようとする自治的能力が育ってきている。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
①楽しい学級生活を	①楽しい学級をつくるために	①楽しい学級をつくるため

題材終了後の子どもの姿

他教科や実生活、将来に、本学習がどのようにつながり、生かされるかを子どもの姿で想定して書く。文末は～している。～いる。

目標に向かうための手立て	〇「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」
	【めあて】 話し合いや実践のめあてである「友達のことをもっとよく知るために」を提案理由のキーワードと結びつけて設定し、自分たちの課題として常に意識できるようにする。 【振り返り】 前回までの学級会や取組における成長や課題について、振り返りをタブレット端末や電子黒板で視覚的に行い、今回の学級会に生かす。また、本題材における個々の取組は記録として保存し、自己の成長を確かめる「キャリア・パスポート」の作成に生かす。 【対話】 タブレットを活用し、事前に自分の意見をまとめておくことで、話し合いに安心して参加できるようにする。また、意見を共有し、多様な考えがあることに気付くようにする。

子どもの実態	①4年生の段階としての学級会の進め方や話し合いの約束などを理解できている児童が増えてきた。 ②友達の意見を聞き取り、自分の意見と比べる力	①話し合いの柱にそって、自分の意見を出すことは多くの児童ができるようになったが、合意形成の際に、仲のよい友達の意見を聞き取り、自分の意見と比べる力	①自分の役割を粘り強く果たす児童がいる一方で、何事も他人任せで、自分たちで計画的に活動を進めていかようとする意識が低い児童がいる。
--------	---	---	---

子どもの実態

・具体的な姿やデータで実態を述べる。
・題材終了後の子どもの姿にあげた内容とのつながりを重視する。

知識・技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
①友達と協働して取り組むことの意義を理解している。 ②議題や提案理由、話し合いのめあてについて理解し、意見の比べ方やまとめ方も身に付けている。	①「友達のことをもっとよく知るために」という話し合いのめあてに沿って自分の意見を持ち、友達の意見と比べ合いながら合意形成を図り、決まったことを協力しながら実践している。	①友達のことをもっとよく知るためのかるた大会をするために、見通しをもったり振り返りながら、自己の役割を果たして活動に取り組もうとしている。

課題等	活動段階	期日・時間	主たる学習活動	評価する内容と方法等	
よう。た大会を協力して計画し、実践し	準備	〇月〇日 帰りの会	〇議題を決定する。	【主】①観察	
		〇月〇日 家庭で	〇学級会		
	実践	〇月〇日 学級活動	●第7時		
		〇月〇日 学級活動	〇4年〇組		
振り返り	帰りの会	〇振り返りをする		【思】①振り返りシート	

指導と評価の計画
主体的な学習につながる準備や実践、振り返りを計画して書く。

議題	提案理由
「4年〇組かるた大会」の計画をしよう	今まで〇組では、いろいろな集会や行事を通して、みんなで協力することができるようになってきました。今度は、オリジナルのかるたを作って楽しむことで、友達や学級のよさを発見でき、学級目標の「笑顔」にも近づくことができると思い、提案しました。

議題及び提案理由
なぜこの話し合いを行うのか、子どもから出された提案理由を記入する。

学習活動	〇主な発言・予想	〇提案理由
はじめる言葉 議題、提案理由 話し合いのめあての確認		て話し合いをしましょう。
めあて：友達のことをもっとよく知ることができる「4年〇組かるた大会」にするために、みんなの意見をよく聞き、考えを伝え合おう。		かるたのイメージの共有化を図る。

話し合いの柱
子どもたちの実態に応じて2～3項目を設定する。

本時の評価
「Bと判断する状況」を具体的に明示する。

展開	35	3 話し合い (1)「かるたに書く内容を何にするか」 (2)「友達のことをもっと知るための工夫をどうするか」 (3)「どんな係が必要か」	(1) 絵が上手、歌が上手」等の特技に関すること。 (2) 工夫をどうするか。 ・友達のいいところ探しをする。 ・全員遊びの回数を増やしてもっと話をする。 (3) どんな係が必要か。 ・いいところを書くカードを作る。	先記入しておく。 ・タブレット
	6	4 決まったことの確認 5 振り返り 6 先生の話 7 おわりの言葉	〇今日の話し合いでは、友達の考えと比べながら自分の考えを発表できていたね。	〇実践に向けての意欲付けを行う。前回の話し合いと比べての変容について称賛する。 ・振り返りシート ・タブレット